



健やかな妊娠と出産を応援するため・・

10月1日から！

妊婦歯科健診（無料）を始めます

元気な赤ちゃんを出産するためには、まずお母さんが健康であることが第一です。

妊娠中は、お口の中が変化し、むし歯や歯周病が発生しやすくなります。

また、お母さんの口の中のむし歯菌が赤ちゃんのお口の中に感染することで、むし歯になってしまいます。お母さんのお口の中を清潔に保つことが重要です。

女性の生涯を通じた歯の健康、及び赤ちゃんの健やかな成長のため、妊婦を対象に身近な歯科医療機関で歯科健診を無料で実施します。また、その結果に基づき、適切な保健指導を行います。

横浜市妊婦歯科健診事業の内容

1 受診対象者

横浜市に住民登録のある妊婦の方（受診おすすめ時期：妊娠12週～27週頃）

2 受診回数及び健診費用

妊娠期間中に1回、無料で受けられます。

3 受診方法及び受診医療機関

実施医療機関に予約し、受診してください。

当日は、妊婦歯科健康診査受診券、母子健康手帳、産科医療機関の診察券を持って受診してください。（また、予約時間はできるだけ産科医療機関の診療時間内をお勧めします）

市内の「妊婦歯科健診実施医療機関※」の歯科医療機関で健診が受けられます。

※ 横浜市こども青少年局ホームページや各区のこども家庭支援課で閲覧できます。

アドレス（<http://www.city.yokohama.lg.jp/kodomo/katei/ninpushika/>）

4 受診券の交付

母子健康手帳交付時に「妊婦歯科健康診査受診券」を交付します。既に、母子健康手帳をお持ちの方は、母子健康手帳を持って各区福祉保健センター母子健康手帳交付窓口で交付を受けてください。

お問い合わせ先

こども青少年局こども家庭課親子保健担当課長 近藤 政代 Tel 045-671-4286

平成24年10月から開始



妊婦歯科健診を 受けましょう！

無料



妊娠中は、口の中が不潔になりやすく、むし歯や歯周病がおこりやすくなります。重度の歯周病により、早産・低体重児出産の頻度が高まる可能性が報告されています。

妊娠中からお口のケアを心がけましょう！

妊婦歯科健診は・・・

妊婦歯科受診券を使うと、
妊娠中に1回、無料で歯科健診が受けられます！
「歯科受診券」を持参して、妊娠12週～27週頃に受けましょう。



健診の内容は？

下記の健診（視診）と保健指導を行います。

- ① むし歯の有無
- ② 歯石の有無
- ③ 歯肉の炎症の有無
- ④ 健診結果に基づく歯科保健指導

★治療が必要な場合、治療費は本人負担となります。



どこで受けられるの？

市内の「妊婦歯科健診実施医療機関」で受けられます。名簿は、こども青少年局ホームページ、福祉保健センターで閲覧できます。



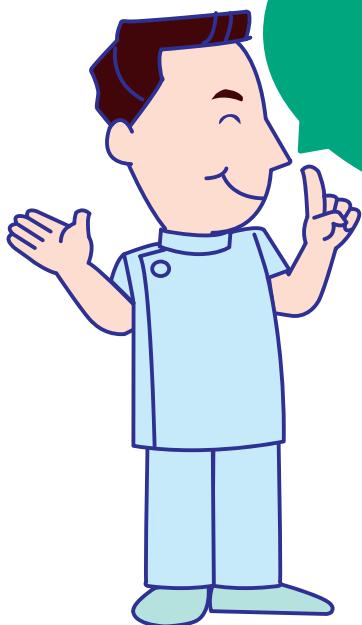
受けるにはどうしたらいいの？

歯科医院に予約してください。

当日は「母子健康手帳」と「歯科受診券」「産婦人科の診察券」をお持ちください。



赤ちゃんの8020は… お母さんのおなかの中から 始まっています！



妊娠中からお口のケアを心がけましょう！

妊娠初期の6～7週頃には、乳歯の芽ができ始めます。

赤ちゃんはむし歯菌を持たずに生まれてきますが、
やがてそばにいる人の唾液を介して移ります。^{うつ}

妊娠中から歯磨きが不十分だったりむし歯があると、
むし歯菌の数が多くなります。赤ちゃんにむし歯菌を
^{うつ}移さないためにも、お口をきれいに保ちましょう！

※“8020”は“ハチ・マル・ニイ・マル”と
読み、「8020運動」とは“80歳
になっても20本以上の自分の
歯を保とう”という運動です。



お母さんや家族のお口の健康が
赤ちゃんの健やかな成長に
つながります。

つわり時の 歯磨きのポイント

体調の良い時に磨く



顔を下に向けて磨く



歯ブラシは
ヘッドが
小さめのもの
を選ぶ

妊娠中の口の中の変化を
セルフチェック！

歯をみがくと血が出る



齒肉が腫れたり、
ムズムズ感がある



つわりで歯が磨けない

口の中がネバネバする

口臭が気になる

チェックのある方は
かかりつけ歯科医に相談しましょう



妊娠中に歯科健診を受けましょう！

① 妊娠していることを
伝えましょう。

② 母子健康手帳を忘れずに
提示し、お口の状態を記
録してもらいましょう。

③ 産婦人科医から歯科治療・薬に
関して注意を受けていることが
あれば必ず伝えましょう。

裏面に妊娠歯科健診のご案内があります！